

岡垣の教育 海老津小学校⑨

卒業生によるバドミントン競技での活躍

岡垣歴史文化研究会 入江 東樹

筆者(入江)は、海老津小の創立5年目に赴任した。8年間、勤務した。当時、町のバドミントンクラブに、海老津ファミリークラブ(代表は和田功夫さん)と岡垣ジュニアバドミントンクラブ(代表は池田明男さん)があった。両クラブは、現在も活動中である。

私が担任した児童の中に、そのクラブに所属して、頑張っている子らがいた。

赴任8年目、2年3組を担当したとき、隣の学級に池田信太郎君がいた。

学年終了時に「2年生さよなら文詩集」を作成した。一人ひとりの自己紹介もあって、その中に、池田君が「自分の得意なことは、バドミントンです」と書いていた。2年生でも、県大会に出場するぐらい、活躍していた。この池田君が、岡垣から初めての

オリンピック選手になった。

「なのみ」11号(P.T.A文集、平成3年発行)に、信太郎君の父親でもある池田明男さんが「マラソン、感動、夏休み」の作文の中で「感動は8月3、5日、京都で行われた全国小学生バドミントン大会に、海老津小の選手を中心に男女の2チーム(筆者注…5年生の信太郎君も選手の一人)が参加したことである。この大会には、韓国小学生選抜チームも参加した。

結果は男子チームが準優勝、女子チームが3位になり、涙を流して喜び合った。

ただ、好きなスポーツだけをするのではなく、いろいろなことに努力する子どもに成長してほしい」と書いている。

このように、海老津小の時からバドミントン競技を頑張っていた子の中から、日本のバド

ミントン競技界で、活躍する選手が誕生した。4人を紹介する。

池田信太郎君(16回卒業生)。

岡垣中、九州国際大学附属高、筑波大を卒業し、日本ユニシスに入社した。

2007年、世界選手権男子ダブルスで3位になり、日本人史上初のメダルを獲得した。翌年の北京オリンピックで、男子ダブルスに出場した。2012年のロンドンオリンピックの混合ダブルスに、潮田玲子選手とのペア(イケ・シオペアと言われた)で出場した。

2度もオリンピックに出場する快挙となった。現在は、日本のプロ選手として、世界ツアーで活躍中。

池田雄一君(信太郎君の弟、20回卒業生)。岡垣中、関東第一高卒業後、実業団ヨネックスや日本ユニシスを経て、今年から再春館製菓所バドミントン部(熊本)のコーチとして活躍している。

2002年、インターハイ団体・シングルス・ダブルスで優勝。2005年から3年連続、全日本社会人男子シングルス優勝。2012年、全日本選手権大会

で、ダブルス3位。

埴畑亮太君(24回卒業生)。岡垣中、関東第一高、法政大学を卒業後、日本ユニシスに入社。

2012年、カナダオープン男子ダブルスで2位。2013年、全日本選手権大会のダブルスで3位。同年、オーストラリア国際チャレンジ男子ダブルスで優勝。身長183センチメートル、体重90キログラムの大型選手。世界で活躍中。

満石忠博君(9回卒業生)。岡垣中、九州国際大学附属高、日本体育大学で活躍。1988年、全国中学生選手権大会の男子シングルスで優勝した。

掲載の写真は池田明男さんから借用した。

海老津小学校の紹介は、今回で終了します。次回から、岡垣中学校(創立10周年のころまで)を紹介し

